

〈NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**： 報告事項 ODAに関する有識者懇談会の議論開示と政策・予算への反映について
(外務省からの報告を要請します)

2. **議題の背景**：

2018年度7月20日、外務省はODAに関する有識者懇談会の開催を報道発表し、その趣旨を以下のように外務省HPに掲載しています。(2018年11月5日アクセス)

1 外務省は、限られた予算の中で、ODAをこれまで以上に効率的かつ効果的に活用していく観点から、河野太郎外務大臣の下で、ODAに関する有識者懇談会を開催することとしました。

2 この懇談会では、ODAに関わる実施主体(国際協力NGO、民間団体等)をどのように強化し、各々の特性を活かした役割を担ってもらうかについて有識者に議論を行っていただく予定です。

同懇談会については、座長はじめ有識者委員の氏名・所属が発表されたほか、第1回会合(2018年7月25日)、第2回会合(2018年9月18日)の「結果」が外務省HPで開示されています。しかしその開示内容は実質的には議論を行う前の論点の提示に留まっており、どのような議論が行われているのか十分に把握できるものとはなっていません(2018年11月5日現在)。そのためNGOのなかには、政策策定の透明性や説明責任に関して疑義が生じてきました。

3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**：

このことからNGO外務省定期協議会では、外務省とNGOの協力のもとで2018年10月30日に臨時全体会議を開催し、有識者会議での議論の概況を共有するとともに、NGOから有識者懇談会への意見やODAに関する改善提案も提示してきました。

年末の政府予算編成の時期を迎えるなかで、有識者懇談会の議論状況とその政策・予算への反映がいかなるかたちで進むのかについて、幅広いNGOが関心を抱いています。

また、現在の有識者懇談会が2019年も継続するのか、その場合にいかなるマンデートを担うのか、さらに情報開示や説明責任の達成、より幅広いNGOからの意見聴取の機会が確保されるのかなどについても関心をもっています。

4. **議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと)**：

1. 第3回以降の有識者懇談会が開催されている場合は、議論の概況を説明していただけるでしょうか？
2. 有識者懇談会の議論について、議事録ないし議論の骨子、提言内容の開示予定をお知らせください。
3. 有識者懇談会の議論は、次年度のODA政策・予算にどの程度、反映される見込みでしょうか？
4. 2019年以降も有識者懇談会は継続する予定でしょうか？
5. 上記1-4への回答を踏まえて、NGOからの意見や要望を申し述べたいと考えています。

➤ 氏名： 高橋良輔

➤ 役職： 理事／ODA政策協議会コーディネーター

➤ 所属団体： 特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク(FUNN)